

キイトルーダ+Avastin+パクリタキセル+カルボプラチン療法【60分】

(電子カルテ名称:キイトルーダ+Avastin+PTX+CBDCA【60分】)

【婦人科】78【子宮頸癌】

(第 コース目)

■エンボス

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 3週ごとを1コースとする

Day	1	8	15	~21
施行日	/	/	/	
キイトルーダ	↓	休薬	休薬	
アバステン	↓	休薬	休薬	
パクリタキセル	↓	休薬	休薬	
カルボプラチン	↓	休薬	休薬	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	
①	生食 50mL 10分
②	●キイトルーダ【 】mg 生食 50mL 30分
③	生食 50mL 10分
④	●アバステン【 】mg 生食 100mL 1時間
※⑤	生食 250mL 1時間
※⑤	同時に 側管より 内服薬レスタミン10mg 5T アロカリス注235mg 1V デキサート注6.6mg 1V デキサート注1.65mg 2A ガスター注20mg 1A グラニセトロンバッグ 100mL 30分
※⑤	
⑥	●パクリタキセル【 】mg 5%ブドウ糖 500mL 3時間
⑦	●カルボプラチン【 】mg 5%ブドウ糖 250mL 1時間
⑧	生食 50mL 10分フラッシュ

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
キイトルーダ	200 mg/body
アバステン	15 mg/kg
パクリタキセル	175 mg/m ²
カルボプラチン	AUC=5

入力 薬剤師	看護師	看護師

■注意・確認事項

- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- パクリタキセル投与中はアレルギー発現に注意すること。特に投与開始10分以内は頻回に観察すること。
- 過敏症予防の前投薬を終了して30分以上経っているのを確認してからパクリタキセルを投与すること。
- アバステンは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行っても良い。
2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。
- アバステンとブドウ糖溶液を混合した場合、アバステンの力価の減弱が生じるおそれがあるため、
ブドウ糖溶液との混合を避け、アバステンとブドウ糖溶液の同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。
- 外来から初回導入となる場合は、インフュージョンリアクションの観察の為、点滴終了1時間後に
医師の診察を受け、帰宅の許可を得ること。